

議 事 録

主 題	令和5年度第1回常陸大宮市子ども・子育て会議について
日 時	令和5年7月26日（水）14:00～15:00
内 容	令和5年度第1回常陸大宮市子ども・子育て会議 会議録
<p>1. 【開会】 笹沼部長</p> <p>2. 【委員紹介】 委員の変更があったために改めて紹介</p> <p>3. 【協議】 進行：眞崎会長</p> <p>(1) 令和4年度子ども・子育て支援事業計画に係る実施状況報告について</p> <p><説明：本橋課長></p> <p>資料1第2期常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画【令和4年度個別事業実施状況報告】に沿って説明</p> <p><質疑></p> <p>○野上保委員</p> <p>資料 P6、No.45「発達支援事業」に付随すると思いますが、令和5年2月に常陸大宮市民間保育園連絡協議会の園長連名で障害児保育の助成金の支給要件の緩和について要望書を提出しているが5か月を経過してもなんら応答がない状況なので、その点についてご説明願います。</p> <p>→事務局（本橋課長）</p> <p>民間保育園連絡協議会園長連名で要望書をいただいておりますが、補助金等審議会がございまして、現在そちらに向けて内容を精査している状況でございまして、補助金等審議会に合わせて提出したいと考えていますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>○小橋委員</p> <p>野上委員の質問に関連して、障がい児の定義について、資料 P7、No.53「放課後等デイサービス」に障がい児に対して、通所による適応指導訓練ができる施設を紹介するサービスということであるが、障がい児と書いてあるんですけど、我々乳幼児を預かる施設における障がい児の捉え方にどのように違いあるのか、どのように定義されているのかご説明願います。</p> <p>→事務局（本橋課長）</p> <p>「放課後等デイサービス」における障がい児の定義でございまして、手帳を交付されている方が対象となるデイサービスとなっております。</p> <p>小橋委員</p> <p>件数が大分違うというか、小学生対象とかそういう意味合いなのか、保育園とこども園に通う園児も含まれるということなのか、そのような子どもたちは療育手帳や障害者手帳をそんなにたくさん持っているものなのか。保育園とこども園に通う園児で療育手帳や障害者手帳を持っている児童はほぼいないです。</p> <p>→事務局（本橋課長）</p> <p>おっしゃるとおりで、資料に記載されている件数は延べ件数となっておりますので、実人数は少ないのではと思います。</p> <p>小橋委員</p> <p>結構な予算をとっているし、我々と関わり合いがないというか連携がとれてないというか、よくわかっていない部分があるので、障がい児、俗に言うグレーゾーンのような子も増えているので、そういう子を預かる我々施設とデイサービスの連携や情報交換が1人の子どもが両方利用しているという</p>	

ケースもあるでしょうし、その辺を前に進めるといいますか集まりとか話し合いを持つとかそういった形がとればよいのかなと思います。

→事務局（笹沼部長）

今年園長会議があったときに、こどもセンターの事業などを紹介させていただいた実績がありますけれど、同じように障がい者サービスの現状などにつきまして、ご紹介させていただくような機会を実施していきたいと考えております。

小橋委員

そうですね。話は出たと思うんですけど紹介するみたいなことを。余り密に関わっていない部分があるので、我々は障がい児に対しての関わり方をこのようにするんだというようにある程度統一された見解というか考え方があると思うんですけど、こうやってお金をかけているわけですし、お互いのノウハウみたいなものをやりとりできるような場というかあった方がより有効活用できるのかなと思うので、その辺も考えていただくとよいのかなと思います。

○鈴木委員

資料 P8、No.61「子供読書活動の推進」について、達成できなかったということで、読書週間とか、私も元教員ということで、教員時代にはみんなに勧めたい本を 200 冊 300 冊夏休み前に投資をしたり、50%70%80%クラスによっては100%と、読書についてはかなり意欲を見せたと思うんですが、今GIGAスクール構想ということで、児童生徒1人に1台パソコンがということで、それについても常陸大宮市でタブレットを使用した事業というものがすごくどんどんすすめられているのはわかります。ただ、そういうことでそれが原因でというか子供たちも宿題などもどういう形で音読などいろいろあったと思うんですが、みんなタブレットあたりで資料なんかも今までは図書館に行ってなにか読み物を調べるというよりもタブレットで資料を調達するという形ですごく便利になったと思うんですけど、文字離れというかそういうことで、その辺のGIGAスクール構想をすすめているのと読書離れがその辺のところの対策のところ新しい図書の購入とあるが、新しい図書を購入しただけでは何の対策にもならないのではないかという感じで、GIGAスクール構想の目指しているものとタブレットと読書という基本的なところで自分の目でしっかり読んで考えてというところは大切なものだと思うので、その辺のところの課題というか現時点の状況というか今後の対策なにか考えていることはあるのかという意見・感想でございます。

→綿引委員

子供読書活動の推進ということで学校教育課で担当しているところでありますので、今鈴木委員がおっしゃったところは私たちも感じるところでありますので、このへんのところについては学校教育課のほうに持ち帰って、検討したいと思います。

○後藤委員

今の読書離れに同じかなと思いますが、この大宮の図書館が乳幼児の方がとても使いづらい。乳幼児コーナーのところに行っても、ちょっと子どもたちが珍しい本を見てうわっというとはっと係の人に走ってこられて「静かにして」と。もうちょっとどういう風にすればよいかわからないですけど、もっとこう小さい子どもも利用しやすいようにしていただきたいなと思います。常陸大宮市の方は大宮ではなく桂村（城里町）の図書館に行ったり、違うところの方が利用しやすいというので、行っている子どもたちも多いので、文化的にしっかりした図書館を目指すのもよいかなと思いますが、もっと一般の方が利用しやすい図書館にさせていただくということもあるのかなと思っています。県なんかはコーヒーを飲むところがあったり、水戸の図書館のようにもうちょっとひらけた図書館を作っていただきたい。

→綿引委員

この会議の時に、図書館の利用状況を眺めてみたりしたんですけども、やっぱり図書館という
と本を読みに来る借りに来るところということがあったんですけども、ある方から壁ができたん
だよということをお話ししようと思っていたところ、正に後藤委員からご意見があり、市としま
しても今後本を借りるだけではなくてカフェができたということは複合的にちょっと行ってみ
ようかなという気軽に行ってみているんな情報を得たりとかそういったこともできる場所、スポ
ットではないですけどそういった施設的に考えてみてもいいのかなと思いますので、すぐにはこ
の施設をどうするという事は難しいですけども、今後の参考にさせていただければと思いま
す。

○野上光久委員

資料 P8、No.58「子ども家庭総合支援拠点事業」について、要支援家庭の実態といますけども、こ
こでいう要支援家庭とはどのようなものがあげられますか。

→事務局（本橋課長）

こちらの要支援家庭という部分なんですけど、いわゆる虐待といますかそこまでは行かなく
ても注意が必要な家庭であります。

野上光久委員

今現在常陸大宮市で小学生児童中学生生徒のとじこもりの件数はどのくらいあるのか、また保護者
がそれを拒絶している家庭はどのくらいあるのか。いろいろ聞いてみると、学校での友達からのいじ
めとか先生とおりが合わないとか交友関係がうまくできないというのはありますけども、今現在の
とじこもりのとじこもりがあるのか、また、その期間は長いのか。私はそういった実例を身近に抱えてい
るものですから、極端な悪い例を言いますと小学校5年生から今現在まで27歳になりますけどとじ
こもって一歩も出たことはありません。そういう家庭があります。保護者に対してはその都度随時い
ろいろ指導・アドバイス・関係機関を紹介したりしてやってきましたけれども保護者が拒絶している。
どうにもなりませんよね。それがいわゆるその今ニュースなどでもやっておりますけども、いきなり
斧を持って飛び込んで、首を切ってしまうとかあります。そういった現場を実際私対応してきたとい
うのもありますけど、何かあったら逮捕するのではなくて、何かあったら逃げろということでやってい
ましたけれども、そういう大人に成長していくケースが非常に多いですよ。だいたい、なかなかそ
ういった性格とかは変わりませんから、そういったものを市としてはどのくらい把握しているのか。
親が拒絶しているあるいはとじこもりなどの家庭をどれくらい把握しているのか。

→事務局（笹沼部長）

データのこの間調べた数値で手元にはないので正確な数値ではないですが、不登校になっ
ている方、教育支援センターに報告があがっている方が何名かいらっしゃって、その中でかなり要支
援といますか症状が重い方は20人とか30人とかいらっしゃる状況は把握していて、そこをい
かにこどもセンターを中心に学校と連携して、どうやったら社会復帰させていけるかはまさに地
域の方々の協力を得ながらやっているところでもなかなか難しい問題であるというのが現状だ
と思うんですけども、その中で健康推進課の保健師と家庭とかお伺いしながらやっているところ
で、正確な数値はこの間調査はしたのですが手元にはない状態です。

野上光久委員

そういったところが非常にこう隠された部分で、表の部分しかみてないので、そういった犯罪の原
因の部分は、非常に大切な重要なことなのでぜひ振り向いて、通知を出してデータをとって、どのよ
うな方法・方向でやっていくのか方向付けをしてほしいし、これからの犯罪が凶悪化低年齢化してい

るなかで非常に重要かつ慎重に対応していかなければならないと思います。そういったことを念頭に置いてすすめていただければと思います。私も常々考えていることで、ある程度の数値も持っているが、行政側にそれを細かく質問するつもりもないし、頭に置いておいていただければよいのかなと思います。少子化で子どもが減っているそうしたなかで10年の上も一歩も出ないでもぐっている、女の子であっても発狂しますからね。押さえるのが容易ではない。男の子もこうも70歳と歳をとってきますと25歳30歳とも体力が違いますし抑えきれない。警察でも最低ラインというものがありますし、そういうことを考えると裸で構えて対応することは難しい。逃げていても後ろから刺されることもある。そういったことも念頭に、確かな部分、潜在していることを頭に置いておいてもらいたい。

(2)その他

<説明：花輪課長補佐>

1 第3期子ども・子育て事業計画の策定について

現行の第2期子ども・子育て支援事業計画の計画期間が令和2年度から令和6年度までとなっていますので、令和7年度からの第3期計画に向けて、現計画と比較検証ができるように対象者や大部分の設間について、**参考資料**第2期計画書策定時に実施したアンケート調査結果を踏襲し、アンケートによるニーズ調査を実施する予定です。実施時期は今年度後半を予定しています。

アンケートによる市民のニーズを把握し、また、この会議での意見等を反映させながら令和6年度中に計画を策定します。アンケートの結果については、今年度の第2回会議の際に速報値等でお示ししたいと考えています。業者選定等の詳細はこれから決めていきます。

2 常陸大宮市子育て世帯生活応援商品券について

コロナ禍の影響の長期化や、物価高騰による子育て世帯の経済的負担を支援することを目的に、市の単独事業として実施するもので、対象は令和5年7月1日現在で市内に住所を有する平成17年4月2日以降に生まれた児童で、児童ひとりあたり5,000円分の商品券を世帯主に送付する予定です。9月中旬から下旬の発送を見込んでいます。使用期限は令和6年1月末となります。

3 哺乳器の回収・リサイクルについて

プレスリリースの資料のとおり、市と赤ちゃん誕生の記念育樹等で関わりのある「ピジョン株式会社」の新たな取り組みとして開始した活動に市が賛同する形で、7月14日から回収を開始しました。

自治体では初の取り組みであり、市民の皆さんにはまだ浸透していないところですので、ぜひ委員のみなさまのお力添えをお願いします。

<質疑>

○野上保委員

アンケートについて、72ページ⑩市の子育て支援施策に期待すること・重要なことで「児童公園等子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が圧倒的に多い数字になっていて、その下に「授乳やおむつ交換に立ち寄れる場所を増やしてほしい」というのがあって、この2つの項目は大きく関連性があると思うんですね。出かけやすく楽しめるためには授乳やおむつ交換させる場所がなければ絶対無理です。とくに保護者用母親用のトイレ施設も含めて、使い勝手のいいそういう児童公園等にするためのアンケートの設間にしていただければと思います。

→事務局（花輪課長補佐）

ぜひ盛り込んでいきたいと思えます。

○眞崎会長

以上をもちまして、本日の協議事項は終了となります。

一緒に考えさせていただいているなかであらゆる子どもをめぐる社会問題があるなかでやはり大事にしなければいけないこと、常に子どもの利益は大事に、そして子どもの権利を保障するということを忘れてはならないなと思うことと、あとやっぱりすべての子どものあらゆる子どもの健やかな成長を多職種多機関で地域みんなで切れ目のない包括的な支援をしていくということが日本全国で求められているなと思えます。やはり感染がまだまだ拡大してきていて、やはりそれこそ孤立してしまうようなご家庭も出てくるのではないかという危惧もあるかと思えます。様々な事情を抱えているご家庭があるなと思うなかでなんとか孤立しないようにですとかすべての子どもさんがやっぱり命が守られることそして健やかに成長していけるように社会全体それこそ市のみなさんで支えていけるように努めていきたいと思えました。貴重なご意見を賜りましたので、よりよい子ども・子育て支援に生かしていければと思えました。ご協力ありがとうございます。

事務局へお返しします。

< 笹沼部長 >

長時間にわたりまして、慎重なご審議ありがとうございました。次回の日程は2月頃、審議内容は、「令和6年度子ども・子育て支援事業計画について」を予定しています。

6. 【閉会】 笹沼部長